津軽産ワインぶどうの生産拡大に向けて

【 弘前市　×　サントリー株式会社　×　JAつがる弘前 】

取組の背景 ～なぜ弘前でワインぶどうなのか～

Point 1 弘前はワインぶどうの栽培適地

岩木山南東地域の気候や土壌は、ワインぶどう（特にヨーロッパ系白ぶどう品種）**の栽培に適している**と言われています。

実際に本地域で栽培されたぶどうから作られたワインは、**国内で高評価を得ています。**

【シャルドネ】

2015年金賞
（13年ヴィンテージ）

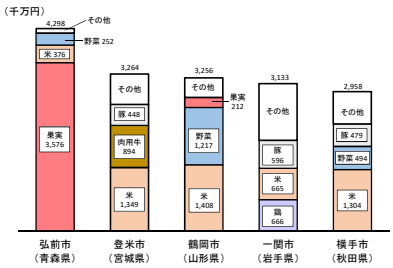
【ソーヴィニヨン・ブラン】

2016/17年/18年金賞
（15/16年ヴィンテージ）

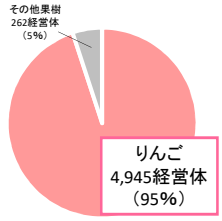
Point 2 災害等に強い複合的な産地形成

弘前市は**りんご単一経営体が多く、気象や病虫害の潜在的リスクが高い**構造になっています。日本一のりんご産地を維持しつつ**他の品目を積極的に取り入れる必要があります。**

○東北上位５市の農業産出額（2018年）



○果樹品目別作付経営体数（弘前市）

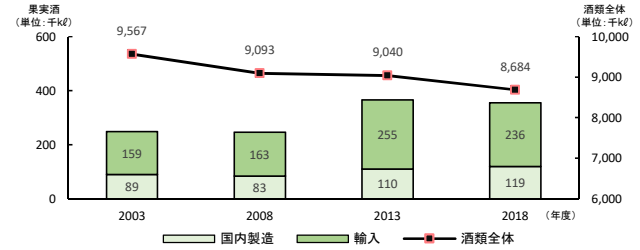


出典：農林水産統計「平成30年市町村別農業産出額（推計）（東北）」、農林業センサス2015

Point 3 国産製造ワインの市場は拡大傾向

酒類全体の消費量は減少傾向にあるものの、果実酒の消費量は増加傾向にあり、**国産製造分の市場も着実に拡大しています。**

○果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移

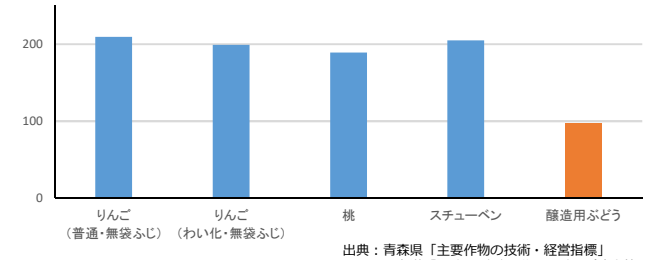


出典：国税庁「国内製造ワインの概況」（平成30年度調査分）

Point 4 省力生産により農地を有効活用

ワインぶどうは、生食向け果樹生産に比べて省力的に栽培できることから、**農地の保全や耕作放棄地の防止に効果が期待**できます。

○果樹生産にかかる労働時間の比較（時間/10a）



出典：青森県「主要作物の技術・経営指標」
北海道「醸造用ぶどう導入手引き（改定第２版）

津軽産ワインぶどうの生産拡大に向けた三者協定（案）

協定の目的

三者が連携し、津軽産ワインぶどうの**高品質かつ安定的な生産体制を構築**し、**津軽産ワインの生産拡大及び知名度向上**に繋げることで、**地域産業の発展及び地域経済の活性化**を図る。

協定の期間　**10年間**

連携内容

弘前市
- ○栽培適地の選定及び情報提供
- ○生産者の確保に向けた啓発活動
- ○生産者育成にかかる体制構築　等

積極的な連携・情報共有

JAつがる弘前
- ○生産指導体系の構築
- ○津軽産ワインぶどうの取組開始にかかる初期コスト及び未収益期間の支援　等

サントリー株式会社
- ○苗木の安定供給
- ○技術指導・助言
- ○安定的な買取単価の設定
- ○市と連携したワイン文化振興　等